

青年の父

山本瀧之助の足跡を訪ねて

【8】沼隈郡青年大会に一人集う

「吉備時報」第27号(1904年(明治37年)12月)の記事に若連中の改善策として「一村内多数孤立対抗せるものを連合せしめ、合同せしむる途を講ずる」とあり、第30号(1905年(明治38年)2月)に「先ず若連中なるもの大同団結を計り(中略)手始めとして一郡青年会を組織せんことを」と述べている。この考え方は8年前の「田舎青年」で若連中を田舎の若者たちを墮落に導く凶器とばかりに非難した論調と明らかに違う。「吉備時報」では若連中の優れた機能や可能性を生かしながら、これを改善し有意義な団体(青年会)に変えていく主張に転換している。この変化は1894年(明治27年)、瀧之助自身が新たに設立した千年少年会の運営が失敗したことや同じころ、全国に新たに設立された600余りの青年会が短命に終わったことなどの現実に直面したことによる。1903年(明治36年)瀧之助は自村の若連中を改善、千年村青年連合会を設立、同年、沼隈郡長市来圭一に郡内の若連中改善を訴え、さらに翌年、新たに郡長になった阿武信一の支援を得て、2年後には郡内すべての町村に青年会を組織するに至った。1907年(明治40年)全国に先がけ郡青年大会を今津河原で開催することになった。



今津河原での青年大会の様子

次号に続く

執筆：上田靖士

(山本瀧之助研究会会員)



南部こんなんやるDay



南部管内の講座のご案内です。みなさまどうぞご参加ください。

能登原公民館 987-4460

廃油で石けん作り

とき 2月22日(水) 9:30~

対象 成人

材料費 100円

お掃除ら~くらく、家中

ピカピカ 汚れ落とし

のエキスパート!! 廃油

石けん作りに挑戦しま

せんか。



沼隈図書館だより

987-5630

ストーリーテリング(素語り)

の世界へ

とき 2月25日(土) 14:00~

語り 広実 知美さん(福山おはなし同好会)

図書館職員

ストーリーテリングとは、語り手が声

によっておはなしを表現し、それを聞

き手と一体となって楽しむことです。



瀬戸公民館 951-1003

いきいき過ごそう,更年期!!

~自分の体を知ることから~

とき 3月10日(土) 10:00~

講師 西田 啓子さん(助産師)

更年期というと、頭が痛い

か、カラダがだるくて何もする

気が起こらないとか、症状は

いろいろありますが... 元氣

に過ごせる術があるはずです。



ポ~/さんのささやき

人権文化の根付いたまちづくりを目指して、そ

れぞれの学区で工夫しながら住民学習会が行

われました。住民学習会に対して、「また人権

か」という声を聞くことがあります。人権問題を

自分とは関係ないことと思っていないでしょ

うか。さまざまな人権問題を考えるとき共通して

言われることは、「無関心が差別を支え

ている」という問題です。正しいことを

知ることが人権問題を解決していく

第一歩になるのではないのでしょうか。



視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。